

「まち」にぎわう

基本目標 05 価値ある資源が活かされるまち

地域の活力につながる商工業のまちづくり

- 消費者ニーズに対応した魅力ある商工業の振興**
- 商工会などの関係機関と連携し、経営診断、指導、助言などの相談支援体制の充実に努め、新規参入者や創業者を育成し、魅力ある店舗づくりの支援に努めます。
 - 後継者不足が顕著となっている個人商店の事業承継支援に努めます。
 - 運転免許証の返納や商店などの撤退により、日常生活に必要なものを購入することが困難になった買い物弱者対策に努めます。

地場産品の高付加価値化と販路拡大

- 地場中小企業による地域資源を活用した製品の研究開発を支援し、ふるさと納税の返礼品やイベントなどを活用した販路拡大、関係機関と連携したPR活動を推進します。



企業支援と雇用の確保

- 地元企業と連携したインターンシップをはじめとする職業体験やキャリア教育の実践により、働くことの意義や職業観の認識を深め、地元企業への就職率向上に努めます。
- 新型コロナウイルスにより増加するテレワークやサテライトオフィスなど、新たな働き方の支援に向けた取組を検討します。

魅力的な観光資源を活用したおもてなしのまちづくり

地域特性を活かした観光振興

- 観光資源や歴史資源などの活用を総合的・効果的に推進するための観光基本構想づくりを目指します。
- 観光スポットの周辺整備を含めた、観光インフラ整備を推進し、魅力ある観光地づくりに努めます。
- コンベンションタウンさつま推進協議会を中心に、町観光特産品協会等と連携しスポーツなどのコンベンションの充実に努めます。また、新たな宿泊施設の確保を図り、周辺自治体と連携した受入体制の強化に努めます。



広域連携・広域観光の推進

- 国内全体でインバウンド市場が成長している中、地方への波及も始まっていることから、県や近隣自治体、DMOと連携し、広域周遊観光ルートの構築を図り、より多くの誘客につなげます。また、プロモーション活動やSNSを活用した情報発信に取り組み、本町への誘客と地元産業や飲食店の振興を図ります。
※DMO…観光地経営の視点に立った観光地域づくりの舵取り役となる法人
- パンフレットや案内板の多言語表記への対応を進め、外国人観光客とのコミュニケーションが図れるようなツールを検討しながら、受入体制の整備に取り組みます。
- 宮之城鉄道記念館内に法人化後の町観光特産品協会事務所を置き、施設の機能強化と観光交流拠点としての利用価値を高めます。

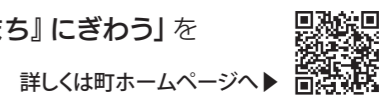
第2次さつま町 総合振興計画 後期基本計画の概要をお知らせします

03

まちの将来像

ひと・まち・自然 みんなで紡ぐ さつま町

総合振興計画では、まちの将来像を実現するため、まちづくりの姿勢と「ひと」「まち」「自然」の3つの基本方針ごとに基本目標を立て、分野別に基本施策を定めて今後の方向性を示しています。第2次さつま町総合振興計画後期基本計画について、今月は「基本方針2-『まち』にぎわう」を紹介いたします。



詳しくは町ホームページへ▶

「まち」にぎわう

基本目標 05 価値ある資源が活かされるまち



新たな時代を切り拓く、活力ある農林水産業のまちづくり

農林業を支える多様な担い手の育成・確保

- 地域の特性を活かした産地形成に向け、意欲ある新規就農者の確保や認定農業者の育成、集落営農組織などの企業化や経営の多角化、複合化を推進します。
- 先端技術を活用したスマート農業の導入により、無人化、省力化や規模拡大、生産性向上など、担い手や労働力不足の解消に努めます。

6次産業化や農工商連携の推進と

ブランド化による攻めの販売戦略

- 地域ブランドとしての「薩摩のさつま」ブランドの確立に向け、地域の特性を活かした商品やサービスなど、地域そのもののイメージを結びつけながら、地域全体で連携したブランド認証制度の創設を目指します。
- 購買者から好まれる牛づくりのための指導体制を充実させ、魅力ある家畜市場の維持・拡大に努めます。
- 県や北さつま農協などの関係機関と連携し、「さつまたけのこ」一大産地の維持・拡大に努めます。

環境に配慮した農業生産と

安全・安心な農林水産物の供給

- 家畜飼養衛生管理基準の遵守と消毒の徹底を推進し、家畜防疫体制の強化に努めます。
- 「かごしまの農林水産物認証制度」の継続取得に向けた支援や情報提供などを行いながら、自然に優しい持続性の高い環境保全型農業の仕組みづくりに取り組みます。

生産性のあがる農林水産業の基盤づくり

- 集落ぐるみの鳥獣被害防止対策を推進し、防護柵の設置と管理について指導しながら実践し、被害防止に向けた取組を推進します。
- 機械導入や飼料畑の造成などに取り組み、畜産生産基盤強化と飼料自給率向上に努めます。
- 生産基盤整備や水田の汎用化を進め、高収益作物の作付や生産性の高い農業生産基盤づくりに取り組みます。
- 森林経営計画の作成支援を行い、適期の森林整備に努めます。また、竹林における作業道の整備を推進し、労働力の軽減とコスト削減に努めます。

「まち」にぎわう

基本目標

07 みんなに優しく魅力あふれるまち



地域をつなぐ交通環境の整備と機能的なまちづくり

道路交通網の整備・充実

- 幹線道路網の整備を進め、国や県と連携し、広域的な道路網の重要性和生活道路としての利便性を考えながら、計画的な整備促進に努めます。
- 地域の暮らしを支える生活道路の維持管理について、地域との協働による取組を推進し、地域住民が安心して生活できるよう道路環境の整備に努めます。

公共交通網の維持と強化

- 高齢者や通学生など利用者のニーズに応じ、利便性と効率性のバランスがとれた持続性の高い乗合タクシーとコミュニティバスを運行します。

地域と地域を結ぶ拠点づくり

- 都市、住宅、福祉、交通などの政策連携により、日常生活に不可欠な機能を集め、周辺地域とつなぐ「小さな拠点」づくりに努めます。
- 区公民館周辺などの生活拠点も含めた多極ネットワーク型のコンパクト化の検討を進めます。

居住環境が整備されたまちづくり

公営住宅等の整備

- 住宅の建て替えや既存住宅の補修などにより、継続的に住みやすい環境づくりに努めます。
- 空き住宅が増加しているため、耐震強度を満たさない住宅などを中心に住宅の集約化を図り、低コスト化・省力化を図ります。

移住・定住対策の充実

- ふるさと帰省支援センターなどとの連携や都市圏での移住相談会、セミナーの開催などにより、移住・定住の情報発信に努め、不安なく移住できる町ぐるみの受入体制づくりに努めます。
- 移住者などの住宅取得やリフォーム等に対する支援を行い、若者や新婚世帯の経済的負担を軽減するなど、人口減少の抑制を図る移住・定住対策に努めます。
- 企業や各種団体等が連携し、若者の出逢いの場や企業間による交流の場の提供、婚活サポーターを中心とした少人数での交流の展開など、結婚活動に対する支援に努めます。

都市公園等の整備・充実

- 長寿化計画等に基づき、都市公園や都市下水路などの都市施設の計画的な維持管理と施設更新に努めます。

町営墓地等の整備・充実

- 墓地使用状況調査により、使用状況と管理台帳の整理を進め、紙媒体で管理している墓地台帳の電子化による効率化と、無管理墓地の発生防止に努めます。

空き家・空き地対策の推進

- 区公民館と連携した空き家情報バンク制度を展開し、登録と情報提供を図り、移住定住対策や空き家リフォームへの支援により空き家の有効利用に努めます。

適正な土地利用の推進

- 優れた自然環境や生活環境などを保全し活用するため、各種法令に基づいた利用について定期的に周知を行い、適正な土地利用に努めます。

安心・安全な水が安定供給されるまちづくり

良質な水道の安定供給

- 安定した良質な水が取水できるよう、水源施設周辺の状態監視の強化を図ります。
- 水道法に基づき実施している原水や浄水の品質検査結果の監視・公表を継続し、突発的な水質異常にも対応できるよう関係機関との連携強化を図ります。

災害に強いライフライン

- 断水区域の狭小化を図るための給水区域内の連絡管や非常用電源装置の整備と、広域支援体制などのバックアップ機能の強化を図ります。

水道事業の健全運営

- 収入の確保と適正な予算の執行に努めながら経営の健全化を図ります。

「まち」にぎわう

基本目標

06 さつま学の推進による人間性豊かなまち



未来につなぐ生涯学習推進のまちづくり

家庭教育の推進

- 家庭教育学級や各種講座などを通じて、町全体で家庭教育を支えるための意識啓発の推進を図ります。

青少年の健全育成

- 学校や子ども会、PTA、ボランティア団体などとの連携を強化し、青少年育成活動の定着を図ります。また、地域の行事や防災訓練などと連携し、幼児や児童生徒、家庭、地域住民が一体となった活動に取り組みます。

生涯学習の推進

- 学習意欲を喚起し、生涯学習への関心が高まるような広報活動に努め、社会教育関係団体などと連携して学習講座の開催に努めます。
- 生涯学習の人材バンク「さつまの郷ししょどん」の活用による高齢者の生きがいづくりや女性の社会参加の促進を図ります。
- 地域ネットワークの拠点となる区公民館、公民会の地域活動を支援し、出前講座により地域での学習機会の拡充を図ります。

生涯を通じていきいきと元気で楽しめるスポーツ振興のまちづくり

スポーツを通じた健康づくりと生涯スポーツの推進

- 各種スポーツ大会や教室などの運営方法を改善・工夫し、多様化するスポーツニーズへの対応と参加者の拡充に努めます。
- 地域のころばん会やサロンなどの場を活用し、生涯スポーツとしてニュースポーツの普及を図り、健康づくりの支援に努めます。
- 気軽にスポーツに触れ楽しめるよう、身近な活動拠点としての学校体育施設の開放を促進し、地域でのスポーツ行事やスポーツ同好会、スポーツ少年団などの活動支援に努めます。

競技力の向上と団体等の育成・支援

- 町スポーツ協会などと連携し、スポーツ団体の育成と競技力向上の支援に努めます。
- スポーツ合宿などの受入体制充実のため、施設利用申請の代行など満足度の向上を図ります。

スポーツ少年団活動を通じた青少年育成の推進

- 「心身ともに健康で、子どもらしい明るい表情を持った元気な子どもに育てる」という基本理念の意識付けと活動の促進を図ります。

社会体育施設の適切な維持管理と有効活用の推進

- 健康づくりや体力づくりの場、競技力向上のために社会体育施設を活用できるようニーズを把握し、効率的な運営と計画的な管理に努めます。

歴史と文化の薫る「さつま学」の推進と郷土愛を醸成するまちづくり

芸術文化の創造と郷土文化の継承

- 芸術文化への認識を高めるため、さつま美術展の開催やみやんじょ吹奏楽フェスタ、舞台芸術などの鑑賞機会の提供に努めます。
- 民俗芸能保存事業の活用の周知と併せ、発表の場の確保などにより民俗芸能伝承活動の支援に努めます。
- 老朽化が進んでいる宮之城文化センターの計画的な改修に努め、新たな文化施設の建設について協議、検討を進めます。

- 文化財ボランティアガイドの育成と、学校や地域の学習機会などでの積極的な活動を行えるよう活躍の場の創出に努めます。

- 宮之城歴史資料センターは、県立北薩広域公園歴史ゾーンの整備と併せ、連携したイベントなどの実施に努めます。また、周遊ルートにあたる国指定文化財の宗功寺墓地は、積極的な情報発信に努め、魅力ある歴史・観光スポットとしての拠点づくりに努めます。